

	CHhomプロフェッショナルホメオパス 養成コース（4年制）	CHhomファミリーホメオパス 養成コース（1年制）	CHhomインナーチャイルド セラピスト養成コース（1年制）	CHhomスピリチュアル フィットセラピスト養成コース（1年制）		
	ホメオパシー 通学コース	ホメオパシー eラーニングコース	eラーニングコース	eラーニングコース	通学コース	
1. コース説明	<ul style="list-style-type: none"> ホメオパシーを専門的に学ぶ。 ホメオパシックス・ハーブ、フラワーエッセンスなどの統合医療の科目はオプションで学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ホメオパシーを専門的に学ぶ。 ホメオパシックス・ハーブ、フラワーエッセンスなどの統合医療の科目はオプションで学ぶ。 日本全国、自宅にいながら自分の時間にあわせ学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族、親戚などホメオパシー相談を受け、日常の様々な急性疾患 に対して、ホームキットを使い、レメディーを選択できる実力を養成する。 慢性病の対応は、最寄りのプロフェッショナル・ホメオパスを受けるように勤めることが原則。 全国どここの地域からでも、自宅にいながら、自分の時間に合わせ学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の様々な心の問題に対し相談を受け、ヒーリングを行い、本コースで学んだホメオパシーやフラワーエッセンス等のアドバイスを行い、一般の方々の心の健康をサポートしていく。 体が原因となる心の症状や対応が難しい精神症状や慢性病の対応は、最寄りのプロフェッショナル・ホメオパスの健康相談を受けるように勤めることが原則。 全国どここの地域からでも、自宅にいながら、自分の時間に合わせ学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 大自然の恵みである植物(花、茎、葉、根、蕾、新芽など)の生命力、エネルギーを活用し、人の自然治癒力に働きかけ、魂、心、体のバランスをとったり、病気の予防や治療をサポートしていきます。 また、生活(薬草茶、入浴、スキンケア、花を生ける、布を染める等)に取り入れることにより、健康面のサポートとともに、生活を豊かにしていきます。 	
2. 入学時期	毎年4月	毎年6月	毎年6月	毎年9月	毎年4月	
3. 年間授業日数	<ul style="list-style-type: none"> 通学：月2回、土日 年間約27日程度 9：50～17:00 (一部授業はeラーニング) なお、3、4年次のケーススタディはケーステーク授業と合わせて100ケース相当の受講日数必要(授業以外のケーススタディは有料) 	<ul style="list-style-type: none"> eラーニング(自宅学習)年間約24日程度 各校受講：ライブまたはDVD視聴 ①集合授業(試験含む)年間 2日程度 ②ケーステーク3、4年次合わせて10日間 合計 年間28日程度 なお、3、4年次のケーススタディはケーステーク授業と合わせて100ケース相当の受講日数必要(授業以外のケーススタディは有料) 	<ul style="list-style-type: none"> eラーニング(自宅学習)：1回3時間授業年間約33回 集合授業(試験含む)：年間1回 	<ul style="list-style-type: none"> eラーニング(自宅学習)：1回3時間授業年間約20回 	<ul style="list-style-type: none"> 通学：半日授業の場合 土3時間 14:00～17:00 1日授業の場合 土日祝 6時間 10:00～17:00 年間18回程度 	
4. カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ○必修授業(授業料を含む) ホメオパシー基礎、哲学、オルガノン、慢性病論講義、マテリアメディカⅠ、ホメオパシー方法論、現代解剖生理、臨床病理学、現代救急医学、ホメオパシー病理学、インナーチャイルド、現代薬理学、ホメオパシー助産学、ケーステーク関連法規等 その他 洞爺ハーブ実習2日間(旅費、宿泊費別) ○推奨(別途有料) 海外スクーリング、JPHMAコンgres ○オプション授業(別途有料) マテリアメディカⅡ、ホメオパシーセルフケア、ホメオパシックス・ハーブ、マザーチンクチャー、日本薬草学、フラワーエッセンス、ケーススタディ、海外講師講義、動物コース授業 	同左	<ul style="list-style-type: none"> ○必修授業(授業料を含む) ホメオパシー基礎、ホメオパシー哲学、解剖生理総論、病理総論、ホメオパシー病理総論、セルフケア総論、マテリアメディカ(レメディー解説)、ハーブ総論、フラワーエッセンス総論、ケース演習、修了試験 ○オプション授業(別途有料) 自然農園見学、JPHMAコンgres 	<ul style="list-style-type: none"> ○必修授業のみ インナーチャイルドの概論、心構え インナーチャイルドを癒やすレメディー、フラワーエッセンス ロールプレイ、ヨガ・ニドラ、アロマ・香り 絵と色、触れる、音、笑いと泣き等 	<ul style="list-style-type: none"> ○必修授業 ハーブ、マザーチンクチャー(MT)概説 スピリチュアルマテリア・メディカ(MM)概説 ジエモ概説 精油とハーブ水及び酵素の解説 ハーブ、MTの個々の特徴 ハーブ、MTを使ったケース症例 静岡 函南農園実習 日本の野草の使い方 薬草ハーブ蒸し風呂、足湯の実践 日本の薬草の概説、特徴 ○推奨授業(別途有料) 北海道 洞爺農園実習 	
5. 認定試験・受験資格	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人 日本ホメオパシー財団「JPHMA認定ホメオパス(同種療法士)」 	同左	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人 日本ホメオパシー財団認定「ファミリーホメオパス ホームキットアドバイザー」 	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人 日本ホメオパシー財団 日本インナーチャイルドセラピー協会認定「インナーチャイルドセラピスト」 	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人 日本ホメオパシー財団認定「スピリチュアル・フィットセラピスト」 	
6. オプション認定資格・受験資格	<ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人 日本ホメオパシー財団「JPHMA認定アニマルホメオパス(動物同種療法士)」「ホメオパシックスハーブ療法士」「フラワーエッセンス療法士」 	同左	なし	なし	なし	
7. 入学金	15万円	15万円	5万円	なし	なし	
8. 授業料	1年間一括の場合 60万円	1年間一括の場合 60万円	1年間一括の場合21万円(2020年度コースより)	1年間一括の場合16万円(2020年度コースより)	1年間一括の場合21万円	
9. 受講場所	<ul style="list-style-type: none"> CHhom札幌、東京、名古屋、大阪校 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅学習(eラーニング) 集中講義の際、最寄りの学校で受講(札幌、東京、名古屋、大阪校) 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅学習(eラーニング) 修了試験の際のみ、授業と合わせて最寄りの学校(CHhom札幌、東京、名古屋、大阪校)で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅学習(eラーニング) 修了試験の際のみ、授業と合わせて最寄りの学校(CHhom札幌、東京、名古屋、大阪校)で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> CHhom札幌、東京、名古屋、大阪校 	
10. 備考	<ul style="list-style-type: none"> 通学コース選択の場合でも2年目以降(2021年度以降、eラーニングコースのみとなります。) 				<ul style="list-style-type: none"> eラーニングコースの場合、実践ワークは、録画による客観的な視聴とすることをあらかじめ了承願います。 本コース修了の方は、プロフェッショナル4年制コースまたはファミリーホメオパス1年制コースに入学する際、入学金50%オフとなります。 認定試験に合格すると「日本ホメオパシー財団認定インナーチャイルドセラピスト」の資格が付与され相談を有料で行う事ができます。 	<ul style="list-style-type: none"> CHhom統合医療コースの学生、卒業生の方(CH1～CH9期)はホメオパシックス・ハーブ療法士取得のためのコースとなっておりますので、「スピリチュアル・フィットセラピスト」の授業を聴講し資格取得が可能です。(聴講対象は 日本薬草学及び函南農園実習午前授業以外 聴講料金はライブ参加無料。DVD補講は半日1500円 1日3000円で受講可能です)
	<ul style="list-style-type: none"> 日程、講義内容は変更する事がございますのでご了承ください。 授業日程・講師、講義科目・内容・形態、回数、時間等は変更になることがあります。 必修、オプションとも授業科目、内容は見直しがあります。 授業の進行度合いにより、授業のテーマ、内容が次回も継続したり、変更になることがあります。 定員に満たない際には開催しない場合がございます。 					